

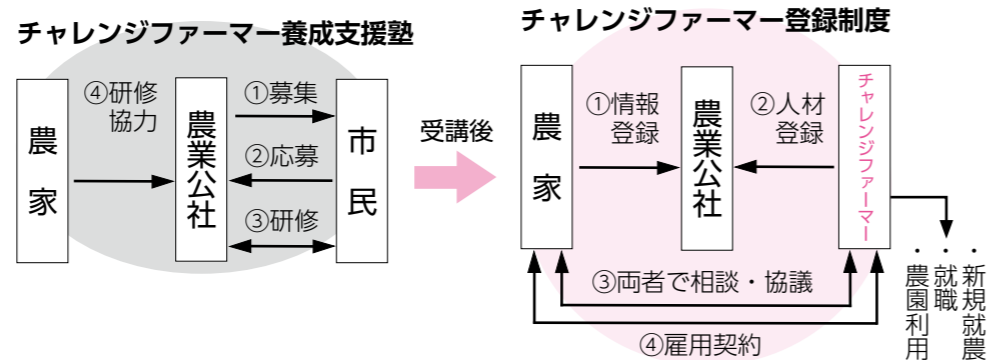


あなたも農業をしてみませんか
チャレンジファーマーの受講生を募集します

▶問い合わせ
 市農業公社
 ☎0287(60)1283

■チャレンジ
 ファーマー制度とは

農業に関心があり、労働意欲の旺盛な市民がチャレンジファーマーとして農業に従事する制度です。「養成支援塾」と「登録制度」の2つから成り立っています。



年齢を重ねるにつれ、故郷を懐かしく思い、母がやっていた野菜作りを自分もやりたいと考えておりました。この条件に合う場所として那須塩原を選びました。
 求めた家には畑がなく、芝生をはがし、苦勞して5.6坪の畑を確保し、しっかりと野菜作りを勉強しようと思ひ、チャレンジファーマー

「夢への第一歩
 チャレンジファーマーは
 最高だった」
 私は、一昨年10月末に那須塩原市に移住してきました。出身は新潟県中魚沼郡、魚沼産コシヒカリの地です。田舎の跡取りですが、Uターンし損ない、勤めを終えた後、終の棲家をどうするか考え悩んだ末に妻の理解も得て那須塩原市にたどり着きました。
 田舎時代は、母が少しの畑をやっており、よく手伝いをさせられました。貧しかった少年時代、でも楽しい思い出が残っています。

養成支援塾
 受講生の声
 第9期受講生 中島 さん



塩原での実地研修
 (大根の間引き作業)

マリー養成支援塾を受講しました。久々の授業、学生時代に戻った気がしました。研修圃場での野菜作りはにぎやかで和気あいあいと楽しくやることができました。
 農家での実地研修では、ナスの葉かき、唐辛子の定植、大根の間引きや土寄せをしたのもいい思い出です。先生たちの講義も中身が濃く、一言も聞き漏らすまいと集中して授業を聞きました。
 受講生同士でも個人圃場でできた野菜を分けあったり、手作りのお菓子の差し入れをもらったりと最高の仲間ができた気がします。
 真剣ながらも楽しいチャレンジファーマー養成支援塾でした。ここで学んだものを糧に野菜作りに精進したいと思ひます。将来的には農家の手伝いもしたいです。

チャレンジファーマー養成支援塾受講生募集

- ▶とき 4月～12月の日曜(月2～3回、全20回) 午前9時～午後1時(前半:農場研修、後半:机上研修)
- ▶ところ 県農業試験場黒磯農場(埼玉9-5)
- ▶対象 農業に関心があり、労働意欲が旺盛で、受講後に引き続き農業を行いたい市民
- ▶定員 20人(定員になり次第締め切り)
- ▶内容
 - 机上研修 野菜栽培(根菜類・果菜類・葉菜類)の基本、土壌作り、病害虫防除、雑草防除、植物生理など
 - 農場研修 農業機械の操作、土壌作り、農場作り、野菜類の播種、定植・栽培・収穫、農場管理など
 - 実地研修 野菜栽培農家での実践的な作業
- ▶参加費 5,000円(保険料・テキスト代)
- ▶申込方法 受講申込用紙に必要事項を記入し、次の窓口で申し込み
- ▶申し込み・申込用紙配布場所 市農業公社、国産産業観光建設課、国産産業観光建設課、帯根出張所
- ▶申込期限 3月6日(金)



家族みんなで賢い消費者に
消費生活と環境展を開催します

▶問い合わせ
 生活課
 ☎0287(62)7126



学び、活かし、伝えよう! ~安全・安心なくらしのために~

とき **2月16日(日)** 午前10時～午後3時
 ところ **いきいきふれあいセンター**

36の団体が、環境や暮らしをテーマに展示・発表を行います。生活にまつわるさまざまな体験コーナーやアトラクション、農産物やリサイクル品の販売、さくら保育園児の皆さんの作品展示など見どころがたくさん! ぜひ、家族で遊びに来てください。

1 ステージプログラム

- ・らくりん座 消費者啓発劇 「宇宙大王のせつない大冒険～悪質商法にご用心～」
- ・「健口体操」～お口元気で歯っぴいライフ～
- ・巻狩踊り(那須野巻狩踊りお囃子会)
- ・子どもカルタ大会 ・バルーンショー
- ・黒磯地区婦人会うたおう会
 ～昔にかえって懐かしい唱歌を歌いましょう～

2 体験コーナー

- ・使用済み食用油を使ったロウソク作り
- ・プラ板作成 ・遮音体験 ・ぬりえコーナー
- ・ゆーバス体験試乗会 ・光害体験コーナー
- ・リバーウォッチング ・ペーパークラフト体験
- ・骨密度測定 など

3 相談コーナー

- ・消費生活相談 ・健康相談
- ・下水道、浄化槽簡易相談
- ・ファイナンシャル・プランナー無料相談会(予約制)

生命保険・損害保険・不動産に関すること、家計と老後の生活設計・税金・ライフプランなどに関して、お金の専門家が相談に乗ります。
 ▶定員 8組
 ※定員になり次第締め切り。
 ▶申込期間 1月27日(月)～2月7日(金)
 ▶申し込み・問い合わせ
 日本FP協会栃木支部 ☎028(610)1105
 ※土・日曜を除く午前10時～午後4時。
 生活課 ☎0287(62)7126

4 展示ブース

暮らしにまつわること、お金のこと、食と健康、自然環境の保全と公害防止などをテーマに展示を行います。

5 スタンプラリー・抽選会

スタンプを全部集めると、抽選会に参加できます。景品は来てのお楽しみ!

6 食品ロス削減! フードドライブ

フードドライブとは、家庭で余っている食品を持ち寄り、支援が必要な人に寄付する活動です。寄付していただいた食品は、フードバンク大田原を通して生活困窮者や福祉施設などに提供します。

[対象食品]缶詰、インスタント・レトルト食品、米(平成30年以降に生産されたもの)、乾麺、調味料、ギフトパック(お歳暮など)

※生鮮食品、冷蔵・冷凍食品、常温で保存できないもの、賞味期限が1カ月未満(3月16日まで)のもの、開封されたもの、包装が破損しているものは対象外。

お願い

- ・駐車場が混み合うため、乗り合わせや、ゆーバスで来てください。当日、ゆーバスのバス停「いきいきふれあいセンター前」で乗り降りする人は運賃無料です(チラシに付いている無料券の提示が必要。チラシは2月13日に新聞折込を予定しているほか、市役所や公民館で2月上旬から配布します)。
- ・環境に配慮し、ビニール袋は配布しません。マイバッグを持参してください。
- ・催し物の内容は変更することがあります。